

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 はーとらんど

特別養護老人ホーム ハートランド五條

ハートランド五條 短期入所生活介護

ハートランド五條 デイサービスセンター

ハートランド五條 ケアプランセンター

ハートランド五條 訪問看護ステーション

社会福祉法人 はーとらんど 事業報告

1. 基本理念

『常に患者様と向き合い、患者様の立場に立ちその場その時に応じた最良の医療サービスを提供する』

2. 各サービスにおける基本方針

特養・ショートステイ

- ・プライバシーを守り、個人の尊厳を尊重します
- ・自立した日常生活がおくれるよう、残存機能に応じた支援を行います
- ・地域の方との交流を通して人にやさしい、あたたかい施設づくりを行います
- ・日々研鑽を重ね知識・技術・人間性を磨いていきます

デイサービス

- ・世代間交流を持ち社会参加の機会を作る
- ・利用者様および家族様の要望に応じたサービスを提供する
- ・安全、安心、快適な生活が送れるよう支援する。
- ・サービス利用の希望に対して、速やかなサービスの提供を行います

3. 30年度目標値

特別養護老人ホーム	49.5名/1日平均
短期入所施設	8.5名/1日平均
デイサービス	17名/1日平均
訪問看護	9名/1日平均

4. 30年度方針

- (1) 奈良県認証制度の取得
- (2) ISO取得に向けての準備
- (3) 介護予防や生活支援の拠点、介護家族への支援強化
 - ①地域住民への介護予防対策・認知症進行予防
 - ②認知症高齢者に対応した介護サービス基盤の整備
- (4) 地域包括ケアへ推進に向けて在宅介護、看護を充実させる。
 - ①在宅生活を充実させるためにケアプランセンター、訪問看護を通じて見守り支援の整備
訪問看護においては、要介護状態又は要支援状態にあり、かかりつけの医師が指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の必要を認めた高齢者に対し、適正な指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護を提供していく。
- (5) 職種や雇用形態に関わらず、全職員が施設・法人の職員であると自覚し、施設職員として誇れる接遇で対応する。
 - ①法人理念・コンプライアンスの視点の周知、認識強化
 - ②規定の順守
 - ③誰が見ても好感が持てる挨拶、言葉かけ
 - ④「介護サービス業」としてサービスの質を意識する
 - ⑤接遇評価への取り組み

(6) 委員会別具体的目標

各委員会の活動強化

1) リスクマネジメント委員会

- ①事故対策委員会として全体OJT研修を2回/年実施し伝達講習をフロアで行う
- ②ヒヤリハット報告の件数を前年度20%増加させ事故への関連性を学ぶ
- ③事故、ひやりはっと共に前年比20%削減
- ④アザ・剥離形成を半減させる
- ⑤服薬状況の把握から服薬ミスを減少させる

2) 感染症対策委員会

- ①施設内での感染をゼロにする
 - ②感染症対策委員会として全体O J T研修を2回/年実施し伝達講習をフロアで行う
 - ③職員の感染症予防並びに感染源の遮断
- 3) 褥瘡対策委員会
- ①入居者様のADLを把握し褥瘡発生要因を評価し新規発生ゼロ
 - ②看護・介護・栄養部門の連携し評価を行う
 - ③除圧技術を高める
- 4) 身体拘束廃止委員会
- ①身体拘束の意味と理解
 - ②身体拘束ゼロ
- 5) 教育委員会
- ①施設内研修の計画遂行
 - ②各委員会活動強化支援
 - ③組織力強化と連携構築推進

5. 法人役員・評議員の現員数

理事：6名 監事：2名 評議員：4名（法改正に伴い評議員数変更）
任期

理 事：平成29年6月19日から2年間

（選任後2年以内に終了する会計年度最終のものに関する理事会終結まで）

監 事：平成29年6月19日から2年間

（選任後2年以内に終了する会計年度最終のものに関する理事会終結まで）

新評議員：平成29年4月1日から4年間

（終了する最終会計年度の定時評議員会の終了の時まで）

5. 職員の体制

＜特別養護老人ホーム ユニット・ショートステイ 平成31年4月1日時点

職 区 分	現員	備 考	職 区 分	現員	備 考
施 設 長	1	デイサービス兼務	看 護 職 員	7	非常勤2名
事 務 員	1.2	障害者雇用含む	管 理 栄 養 士	2	事務員1名兼務
生 活 相 談 員	1	社会福祉士	介 護 支 援 専 門 員	1	
介 護 職 員	32	パート 9名	医 師	4	嘱託
機能回復訓練員	1	看護師	車 両 ・ 清 掃	6	非常勤5名

＜デイサービス＞

職 区 分	現員	備 考	職 区 分	現員	備 考
管 理 者	1		生 活 相 談 員	1	社会福祉主事任用者
介 護 職 員	8	パート3名	看 護 職 員	2	非常勤1名

＜その他＞法人全体での人員移動

- 看護職員退職人数 4名
- 介護職員退職人数 10名
- 介護職員の平均年齢：42.84歳
- 介護福祉士の総数：15名（昨年度より3名増）

6. 各サービスごとの事業報告

1) 特別養護老人ホームハートランド五條（ユニット型）

入居の状況（平成30年4月～平成31年3月31日） 月末閉め人数

H29 年度	入居者数 (月末人数)			満床時延 べ人数 (人)	定員 (人)	延実人数 (人)	月間延 空床数 (人)	月 間 外泊・空床 率 (%)	年間 利用率 (%)
	男性	女性	合計						
4 月	12	37	49	1500	50	1494	65	2.0%	97.0%
5 月	12	37	49	1550	50	1519	92	1.7%	
6 月	12	37	49	1500	50	1493	19	1.5%	
7 月	13	37	50	1550	50	1550	0	2.2%	
8 月	13	37	50	1550	50	1550	0	2.8%	
9 月	13	37	50	1500	50	1500	6	2.6%	
10 月	13	37	50	1550	50	1550	0	2.9%	
11 月	13	37	50	1500	50	1500	0	2.9%	
12 月	12	37	49	1550	50	1543	21	2.8%	
1 月	12	38	50	1550	50	1503	43	2.6%	
2 月	12	38	50	1450	50	1377	50	2.6%	
3 月	12	38	50	1550	50	1550	13	2.4%	

平成 30 年においては、空床、外泊、入院に伴う空床率は年間平均 2.4%の結果であり平成 29 年度の空床 3.2%より 0.8%改善し、年間利用率においても 2.7%上昇している。
今後、身体疾患に伴い入院者の増加の可能性があり、空床率のアップへと繋がる可能性は十分ある。

30 年度 入 退 居 の 状 況 (人)

状 況	入 居				退 居				
	在 宅	SS	他施設 ※1	医療機関	在 宅	地域密着	他施設 ※1	入 院 ※2	死 亡 ※3
小計	1	4	0	1	0	0	0	1	5
合計	6				6				

※1 特養、グループホーム、老人保健施設など介護保険の施設。

※2 入院時の身体状況により家族からの退居の申出によるものと、入院期間が3ヶ月経過したための退居された方。

※3 医療機関への転院及び転院後、入院中に医療機関で死亡された方。

- ・ SSとは、当施設ショートステイを長期利用もしくは定期利用しながら入居待機をしている方の入居で、ショートステイ希望の方で特養入居へ希望変更された方、満床のためショートステイで待機されていた方が含まれます。

利用者の状況

①特別養護老人ホーム ハートランド五條 入居者詳細内訳数

介護度別人数

3 月末

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均
人数(27年度末)	11	18	8	4	8	49	2.64
人数(28年度末)	11	12	11	7	7	48	2.7
人数(29年度末)	5	13	14	9	9	50	3.08
人数(30年度末)	4	16	12	11	7	50	2.96

年齢別人数

3月末

年齢	～65歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	平均
人数(27年度末)	3	1	7	23	14	1	85.2
人数(28年度末)	5	2	4	25	10	1	83.6
人数(29年度末)	4	2	2	26	15	1	85.3
人数(30年度末)	4	2	1	24	18	1	84.33

②ハートランド五條 短期入所利用者数及び介護度平均

3月末

介護度	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	合計(人)	平均
人数(27年度)	1	12	18	68	40	38	12	189	2.8
人数(28年度)	0	10	23	69	44	36	11	193	2.68
人数(29年度)	5	3	19	99	67	7	7	207	2.3
人数(30年度)	0	0	29	59	76	40	31	235	2.9

③ハートランド五條デイサービスセンター介護度別通所者実人数と介護度平均

介護度	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	合計(人)	平均
27年度	12	47	113	82	77	39	15	385	2.3
28年度	41	47	188	161	110	91	10	648	2.2
29年度	63	53	150	239	146	70	17	738	1.9
30年度	72	105	166	195	97	58	9	702	1.7

デイサービス通所者月別延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
27年度	83	108	114	152	157	174	203	204	200	185	226	259	2065
28年度	272	267	253	294	319	339	366	382	380	309	320	383	3884
29年度	326	378	368	378	363	349	385	360	353	349	340	409	4358
30年度	427	456	438	433	393	371	408	402	385	381	408	435	4937

7. 地域との交流・施設行事

29年度	施設内行事	地域への施設無料開放教室
4月	フロアごとの花見	クラフト教室 ヨガ教室 歌声教室
5月	カラオケ大会	クラフト教室 ヨガ教室 歌声教室
6月	なかよし保育園交流会(施設慰問)	クラフト教室 ヨガ教室 歌声教室
7月		クラフト教室 ヨガ教室 歌声教室
8月	吉野川花火大会見学	クラフト教室 ヨガ教室 歌声教室
9月	敬老会お祝いバイキング食事提供	クラフト教室 ヨガ教室 カラオケ
10月		クラフト教室 ヨガ教室 カラオケ
11月	オカリナ演奏会(施設慰問)	クラフト教室 ヨガ教室 カラオケ
12月	琴演奏会(施設慰問) 年末餅つき大会	クラフト教室 ヨガ教室 カラオケ 転倒予防教室
1月		ヨガ教室 カラオケ
2月	三味線演奏(施設慰問)	ヨガ教室 カラオケ
3月	入居者 花見(桜)	ヨガ教室 カラオケ

8. 家族様・利用者様からのご意見への取り組み

玄関前へご意見箱を設置

平成30年度 ご意見箱件数 0件 (直接職員がいただいたご意見 11件)

◎ご家族様からのご意見

平成30年5月17日

受診の出発の時、服に便が付いていた。途中服を買って着替えさせた。

対応：謝罪と現場への確認の徹底指示

平成30年6月12日

先日のSS利用時、初日に着ていた枚数と同じ枚数分下着を入れていたが、帰りの際に下着を身に付けておらっていなかった。

対応：下着の着用させていなかったことに対して謝罪

平成30年6月25日

ショートステイ利用中、強く入浴拒否があったため、着替えも清拭も出来ていなかったと妻より意見。

対応：本人様の意向であったが着替えができていなかったことを謝罪させて頂く。

平成30年7月20日

いつもショートステイ利用時入れていたパットを何も使用していなかったのでは、着替えもしていないんじゃないか？

対応：対応させて頂いていたことを伝え、施設のパットを使用させていただいたことを伝える。

平成30年7月20日

本人様より「帰る時誰も挨拶してくれない。お金払って来てるのに。お客さんやのに」と言われる。

対応：ご気分を害した対応に対して謝罪させて頂く。

平成30年8月28日

1回/2M 散髪をお願いしているのに出来ていなかった。どうなっているのか？との意見。

面会の度いつも同じ服装である。ウチの人だけちゃんと面倒見てくれないように思ってしまう。

対応：理容について、職員の対応ミスであり謝罪させて頂く。

平成30年11月1日

持参したスポーツドリンクの減りが早い。7月も9月も持ってきた。なぜボカリなのか？お茶で良いと思う。

理由の説明が全く無い。電話で名前も名乗らない。

小出しに持って来て欲しいものを言わないでほしい。忙しいのに何回も持って来れない。

対応：必要理由を説明し、依頼対応した職員が複数いたことが原因であったため謝罪し対応や依頼を一本化して対応することを説明。

平成31年2月27日

「最初に着替えを5枚用意するように言われていたにもかかわらず、職員から〇〇さんは無くすから3枚でいいですよと言われた。5枚でも無くされるのに何故3枚に減るのか。名前も書いているはずなのに何故無くなるのか？」

対応：現場職員へ上記内容の確認を行い、手荷物や衣類数等について統一した対応を行うよう指示し、家族様に謝罪。

平成31年3月27日

外出する時に下の入れ歯が入っていないことに気づいていたが、職員が忙しそうにしていたため、言いづらかったのでそのまま外出したとのこと。

対応：義歯を入れていなかったことに対する謝罪とご家族様への気遣いをさせてしまったことをお詫びする。

◎ケアマネージャーからのご意見

平成30年8月28日

本人様がケアマネージャへ報告

- ・食事が少ない

対応：説明としてカロリーやバランスについては食事摂取基準のもと計算されたものを提供できている。しかし「食料が少なく」とのご意見に対して、食事提供の方法、料、種類を検討して提供できる体制を整えるよう改善

- ・入浴介助についてきっちり丁寧に洗って対応してくれる職員もおれば、放ったらかしにする職員

もいる。態度にも出ているのでその職員に当たった時は気持ちが嫌になる。

対応：状況確認と意見をいただいたことを現場へ伝えるとともに、質を維持した介護方法の実施をするよう指示。

- ・夜中水を2本ほどお願いする時があるがすぐに対応してくれない職員がいる。

対応：状況報告を現場へ伝え改善を依頼。

9. 会議開催の状況

○給食会議

開催時期： 毎月1回

出席者： 施設長、事務・相談室室長、看護師、管理栄養士、事務職員、フロア責任者
日清医療食品株式会社職員（エリアマネージャー・栄養士）

○フロア会議

開催時期： 各フロア毎月1回

出席者： 各フロア職員、看護師（状況に応じて施設長、機能訓練士、管理栄養士、相談員）
議題： 入居者様への対応フロアにおける介護に対する意見交換、改善すべき事項等

○委員会会議（教育・感染症・行動制限・リスクマネジメント・機能訓練委員会・褥瘡委員会）

開催時期： 原則1回/月

出席者： 各フロア委員、施設長、看護師（状況に応じて機能訓練士、管理栄養士、相談員）

10. 外部研修参加状況

- 平成30年5月14日 平成30年度福祉事業部スキルアップ研修会
参加者：管理栄養士1名 場所：大阪市、新大阪ビル別館
- 平成30年5月22日 6月26日 内部監査員養成講座
参加者：4名 場所：一般財団法人信貴山病院
- 平成30年5月22日 介護現場における感染防止と対策
参加者：看護職員1名 場所：奈良県社会福祉総合センター
- 平成30年6月28日 南和地域在宅医療研修会
参加者：介護支援専門員1名 場所：南奈良総合医療センター
- 平成30年6月28日 8月2日 拘縮予防・改善を実現するポジショニングケア
参加者：機能訓練指導員1名 場所：大阪市本町 田村駒ビル
- 平成30年7月31日～8月3日 ユニットリーダー研修
参加者：介護職員1名 場所：特別養護老人ホーム和里
- 平成30年7月27日 吉野保健所特定給食施設等関係職員研修
参加者：管理栄養士1名 場所：下市観光文化センター
- 平成30年9月7日 施設における看取り教育
参加者：看護師2名 場所：奈良県社会福祉総合センター
- 平成30年9月13日～11月8日 認知症介護実践者研修
参加者：介護職員1名 場所：社会福祉センター
- 平成30年9月14日～11月29日 認知症介護実践リーダー研修
参加者：介護職員1名 場所：奈良県社会福祉総合センター
- 平成30年10月27日 奈良県看護協会I・II合同交流会
参加者：看護職員2名 場所：奈良県看護協会研修センター
- 平成30年11月17日： 奈良県看護協会看護師職能II研修会
感染管理 フィジカルアセスメント
参加者：看護職員2名 場所：奈良県看護協会研修センター
- 平成30年11月14日 12月19日 内部監査員養成研修
参加者：看護職員1名 介護職3名 場所：信貴山玉蔵院
- 平成31年2月13日 歯科口腔保険推進講習会
参加者：介護支援専門員 場所：大淀町文化会館
- 平成31年2月21日 南和地域在宅医研修会

- 参加者：介護支援専門員 1 名 場所：南奈良総合医療センター
 16. 平成 31 年 3 月 11 日 コミュニティーソーシャルワーク研修会
 参加者：介護支援専門員 1 名 場所：奈良県社会福祉総合センター
 17. 平成 31 年 3 月 25 日 高齢者虐待について
 参加者：介護支援専門員 1 名 場所：カルム五條

11. 施設内研修実施状況

- ・毎月一回実施 口腔ケア研修 (さくらデンタルクリニック 歯科衛生士実施)
 対象者・・・介護職、事務職、介護支援専門員、看護師 一回平均 5～6 人参加
- ・平成 30 年 4 月 7 日 感染症委員会 「感染源」
 対象者・・・全職種 計 9 名参加
 内 容・・・感染源 感染経路 環境清掃 健康管理 手洗い
 ※研修参加者が未参加職員に対して現場で O J T 実施。
- ・平成 30 年 5 月 2 日 リスクマネジメント委員会 「移乗介助の基本について」
 対象者・・・全職種 計 23 名参加
 内 容・・・無理なく安全な移乗介助の基本
- ・平成 30 年 5 月 25 日 おむつ研修会
 対象者・・・介護職員、 計 8 名参加
 内 容・・・スキントラブルの原因 排泄ケアにおける清潔ケア
- ・平成 30 年 6 月 6 日 身体拘束廃止委員会
 対象者・・・介護職員、看護師、 計 8 名参加
 内容・・・身体拘束とは何か？ なぜ身体拘束は問題なのか？ 身体拘束をせずに行うケアとは。
 ※研修参加者が未参加職員に対して現場で O J T 実施。
- ・平成 30 年 7 月 4 日 認知症研修
 対象者・・・介護職員、看護師 計 16 名参加
 内容・・・4 大認知症とその特徴 中核症状 B P S D について
 ※研修参加者が未参加職員に対して現場で O J T 実施。
- ・平成 30 年 9 月 5 日 褥瘡委員会研修 褥瘡の予防
 対象者・・・看護職員・介護職員 計 10 名参加
 内容・・・褥瘡の予防
 ※研修参加者が未参加職員に対して現場で O J T 実施。
- ・平成 30 年 9 月 26 日 I S O 研修会
 対象者・・・全職員 計 16 名参加
 内容・・・組織マネジメント、QMS
- ・平成 30 年 12 月 4 日 移乗とポジショニング (フロア内 O J T)
 対象者・・・介護職員 計 7 名参加
 内容・・・移乗の仕方 正しいポジショニング 褥瘡予防の為にクッションの位置
- ・平成 31 年 1 月 23 日 介護技術向上の為に演習と抗議 (フロア内 O J T)
 対象者・・・介護職員 計 8 名参加
 内容・・・介護技術の実技 介助時の支持方法
- ・平成 31 年 1 月 23 日 インフルエンザについて (フロア内 O J T)
 対象者・・・介護職員 計 8 名参加
 内容・・・インフルエンザについて
- ・平成 31 年 3 月 13 日 褥瘡委員会研修会
 対象者・・・看護師、介護職員、ケアマネージャー 計 14 名参加
 内容・・・褥瘡とは 褥瘡が出来る要因 発生させやすい要因 褥瘡の予防
 ※研修参加者が未参加職員に対して現場で O J T 実施。